

「元輝^{げんき}学舎^{がくしゃ}」せんだ通信 13

児童川柳 「みんながね きっともってる 「ありがとう」

四字熟語 「信心 友共」(意味:信じ合う心を友と共にもち 学校生活を送りたい)

平成24年3月2日

~校長室だより~

表情が豊かに表現された作品、動きのよく分かる作品、細かいところまで丁寧に表現された作品が廊下等の掲示板に並ぶ。どの作品も製作した児童の思いや巧みな技能を駆使したものばかりで、児童の作品製作力の高さと意欲がよく表れおり、児童の成長をも感じるものとなっています。この3月も、児童の表現の高さに感動する月となっています。



< 2年生 >



< 3年生 >



< 4年生 >

~ もうすぐ旅立つ6年生 夢や「私の一字と名言」などを伝えあった参観日 ~

小学校生活最後の参観日、6年生の各教室を訪ねると、6年間の振り返り、将来の夢やみんなに伝えたい「私の一字と名言」の紹介などが行われていました。「6年間」を振り返った学級では、入学式や二分の一成人式、鼓笛や計画委員会等の活動などに取り組んだ思い出が、取組前後のどきどき感や不安感、すっきり感や達成感も加わり語られていました。また、家族や友だちなど自分を支えてくださった方々を想起した子どもたちは、次のような感想を添えて6年間の振り返っていました。

私は、この授業で、支えてくださった人がいるから、勇気をもってチャレンジできたのではないかと改めて実感しました。また、挑戦は勇気があることだし、失敗したらこわいからなかなかできないことが多いけど、思っきり挑戦してできたら、ものすごく嬉しいし大きな自信にもなることも経験しました。・・・だからこそ、支えてくださった人へ感謝をしなくてはいけないし、これからもそれなりに精一杯がんばってお返しもしたいです。など

「将来の夢」を紹介した学級では、「私には になりたいという夢があります。その理由は だからです」を2か年間の英語の学習で習得した英語力を駆使して、堂々と表現していた子どもたち。基礎的な英語力だけでは表現しきれない内容も練習を重ね、はっきりと夢を語った子どもたち。底力と努力に感動しました。なかには照れくさそうな子どももいましたが、まなざしはきらきらと輝き、「きっと夢を叶えるぞ」という意志の強さも伝わってきました。また、子どもたちの夢は、3月に配布されますPTA新聞『千田通信』に掲載される予定です。

「私の一字と名言」を紹介した学級では、「夢」「信」「始」など意味することも含め、大切にしたい漢字一字とともに、次のような名言が伝えられました。

「くやしいと思ったら また強くなる」「障子を開けてみる。外は広いぞ」

「いつか必ず吹いてくる、自分の風が。その風を確実につかめ」

「うまくいなくても、やったことは全部将来の自分にプラスになります」など

いずれの「私の名言」も意味深く含蓄があり、初めて知ることができたものも多く、自らの人生訓集に取り込みたいものばかりでした。

参観日の後、この3月1日には、全校で6年生を送る会がありました。なかでも、かかわりの多かった1年生はダンスの中に「・・・掃除、給食などいろいろなことを教えてくれたり一緒に遊んでくれてありがとう。6年生は大好きだよ」と感謝のことばを添え、6年生の背中をみてきた5年生は中学校へと進学する6年生に、「『友だちと共に』『心に太陽をもって』『自分を大切に』」とエールを贈りました。最高に感動したひと時となりました。